

(公社)日本技術士会 栃木県支部 令和7年度 第1回役員会議事録

- ・開催日：2025年4月5日（土）9:00～11:00
- ・場 所：Zoom会議、場所任意
- ・出席者：福田一郎、小川正順、新井達雄、石附尚志、金澤政和、
西谷元則、日高倫明、島田源一、水野潤、徳江義宏、亀田則男、宮下治
（12名）
- ・委任状出席者：谷口雅昭、井本郁子、柏崎和久（3名）

【審議事項】

1. 支部長資料（福田支部長）
2025 年度支部執行体制についての提案がある。
 - (1)前提：役員活動の動機、現状
 - (2)視点：本部、支部基本方針を踏まえ、支部会員のための活動について
役員の負担軽減、内部管理業務の担当について
 - (3)現状：①業務量（作業量が多い、自分の意向に合わない業務、各委員会の内容と
担当の見直し）
②委員会（活動内容を各委員会で検討）
総務委員会、企画・研修委員会、広報委員会、企業支援委員会、
国際委員会、地域社会貢献委員会（科学技術・理科教育小委員会・
市貝プロジェクト、環境小委員会、防災支援小委員会、
地域支援小委員会、男女共同参画小委員会）
- ・総務委員会
作業項目を分けて各幹事で活動を継続している。幹事が柔軟に活動できる体制
を今後は構築したいと考えているので皆さん協議したい。
- ・企画・研修委員会
講演会、見学開催に向けて作業が多い。委員長、副委員長などで作業を分けて
行事運営を簡素化できる仕組みを皆さんで検討したい。
- ・広報委員会
作業はそれなりに多い。自分と同じぐらい活動できる幹事がいれば運営が行い
やすい。メインで活動できる幹事の複数体制について協議したい。
また、理科教育と市貝プロジェクトと環境小委員会を一本化したいと考えていま
すので、協議したいと思います。
- ・企業支援委員会
企業への支援スタンスに違和感を感じる。具体には、現在の支援は県から
の補助申請支援などが中心となっているが、本来は各企業個別に技術を支援
することだと考えていた。県支部の今後の方針を確認したい。
- ・国際委員会
現在、国際委員会の配下に2つの小委員会がある。これを国際委員会に一本化
したらを考える。
- ・地域社会貢献委員会
男女共同参画小委員会は、委員会に格上げしてもいいのでは？
その他の小委員会は現状どおりか？

今回の審議経過を踏まえ、6月の役員会で方向を決める。

- (4) スケジュール 今後審議内容を踏まえて決める。
- (5) 役員の配置 今後審議内容を踏まえて決める。
- (6) 委員会活動 今後審議内容を踏まえて決める。

2. 令和7年度年次大会について

・日時は、7月5日（土）午後2時～ ニューみくら

3. 帝京大学理工への講師派遣（技術者倫理概論）について

役員会で幹事是对应できない。支部会員にメールで情報を発信して講師ができるか否か受付をする。支部長からメールで発信し、企画・研修委員会宮下まで返信をして頂く。期限は、4月12日（土）とする。結果は、本部倫理委員長塩原亮一さんに宮下から連絡する。

4. 国際委員会より（亀田委員長）

第12次訪中団派遣を6月16日～19日を予定している。現在8名の参加申し込み状況である。参加希望する方は、申し出てほしい。

【次回開催予定日】

6月14日（土）10:00 ～ 12:00 場所：未定
福田支部長が徳江幹に連絡し、会場を準備する。

議事録書記 宮下 治、島田源一

議事録署名人 水野 潤

議事録署名人 金澤政和